

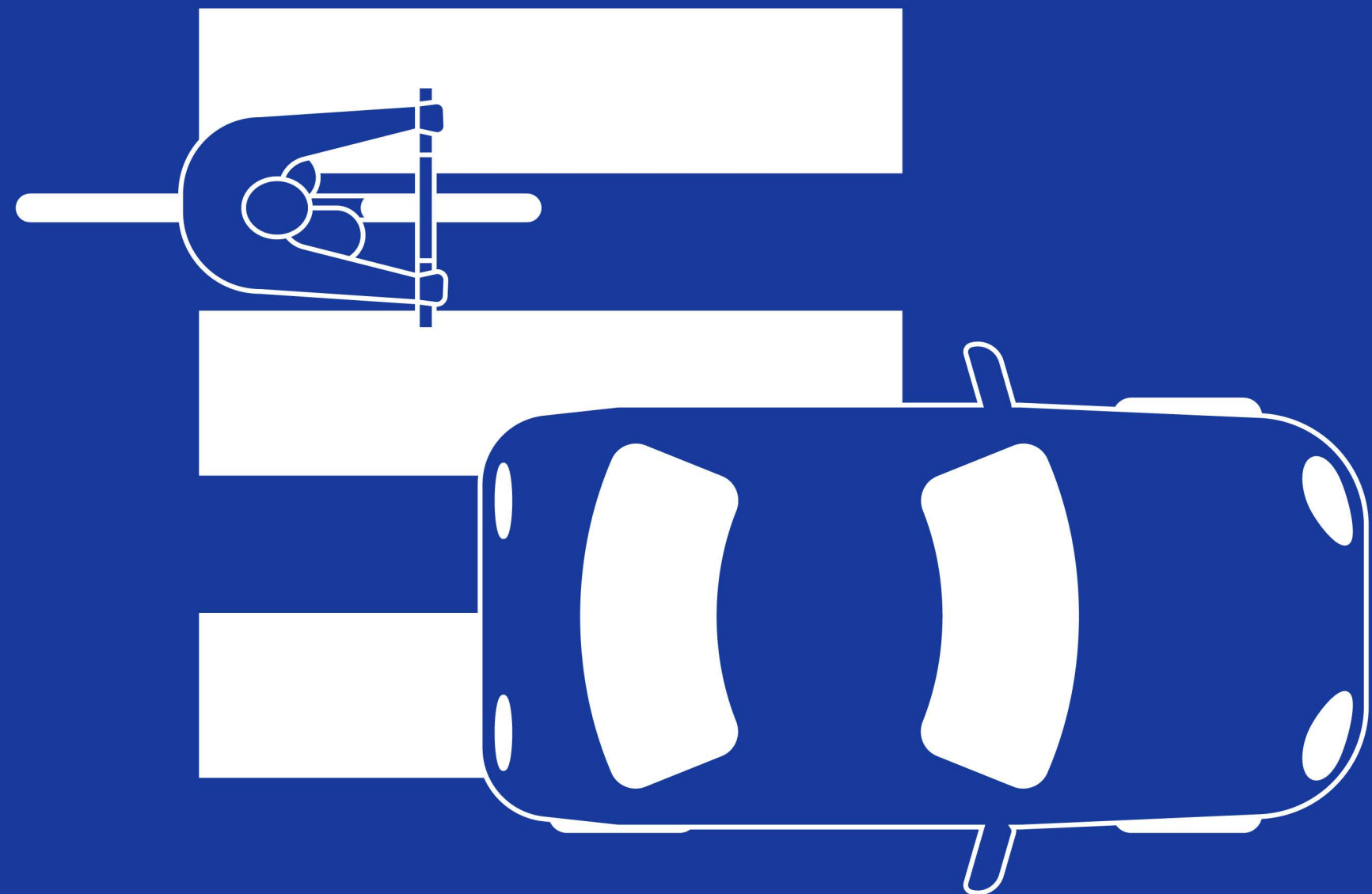
車と自転車の 交通ルールを巡る 対立意識調査

イーデザイン損保

調査対象：500名 [全国の20-69歳の男女 /
週1回以上車を運転する人250名と、週1回以上自転車を運転する人250名]

調査期間：2025年1月10日-2025年1月14日

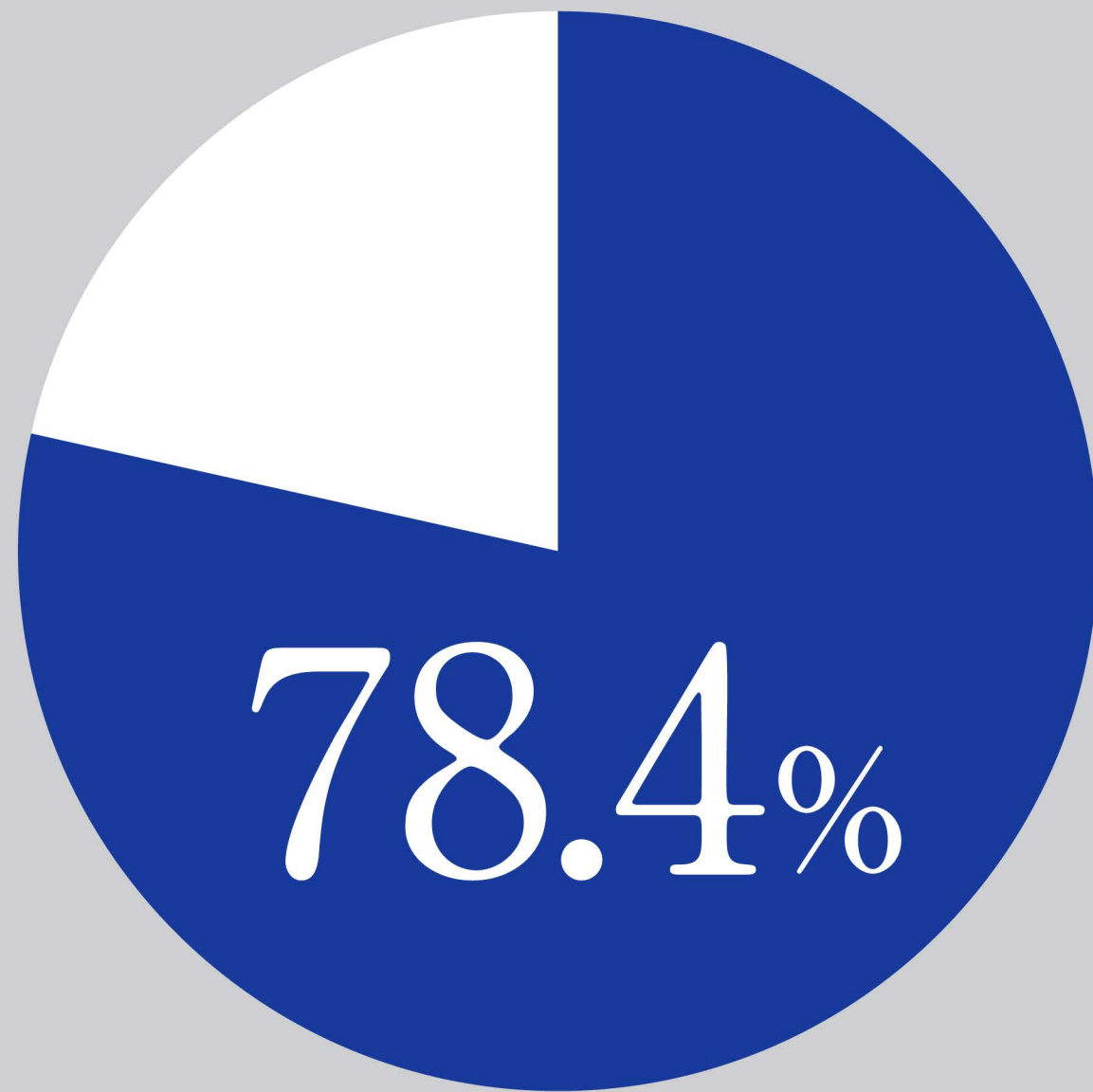
調査方法：インターネット調査



車vs自転車の対立意識

「自転車側の配慮が不足している」と感じる

CAR



自動車の存在がないかのように避けることもせず、自由に動き回るのは危険なのでやめてほしい。

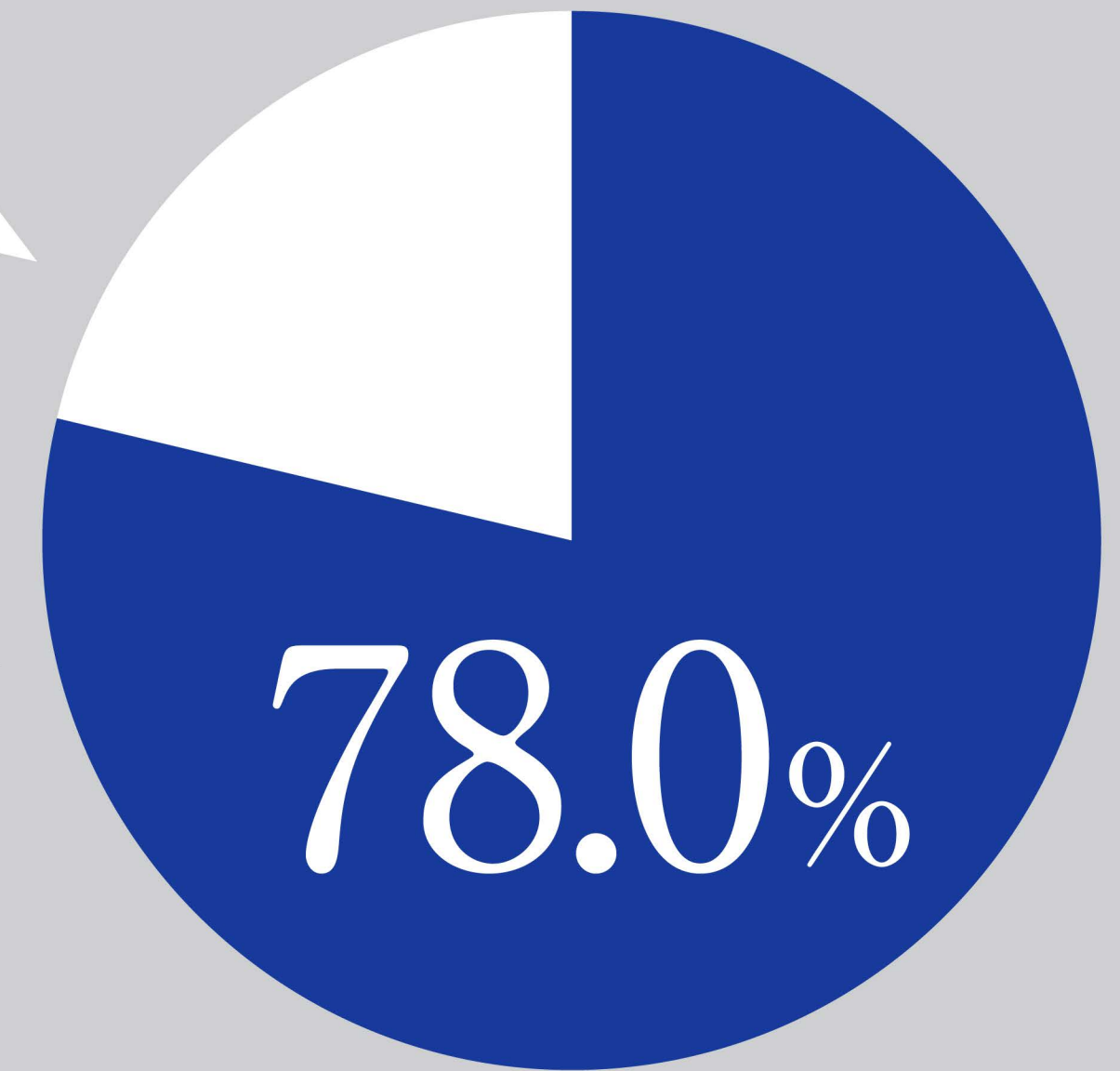
どうせまた抜かされるのに信号待ちのたびに抜いてくる自転車は迷惑。

自転車が車道側に寄って運転していることがあり、動きが予測できないので不安になる。



BICYCLE

「車側の配慮が不足している」と感じる



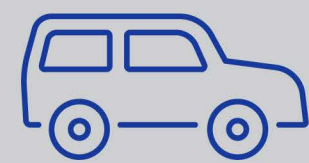
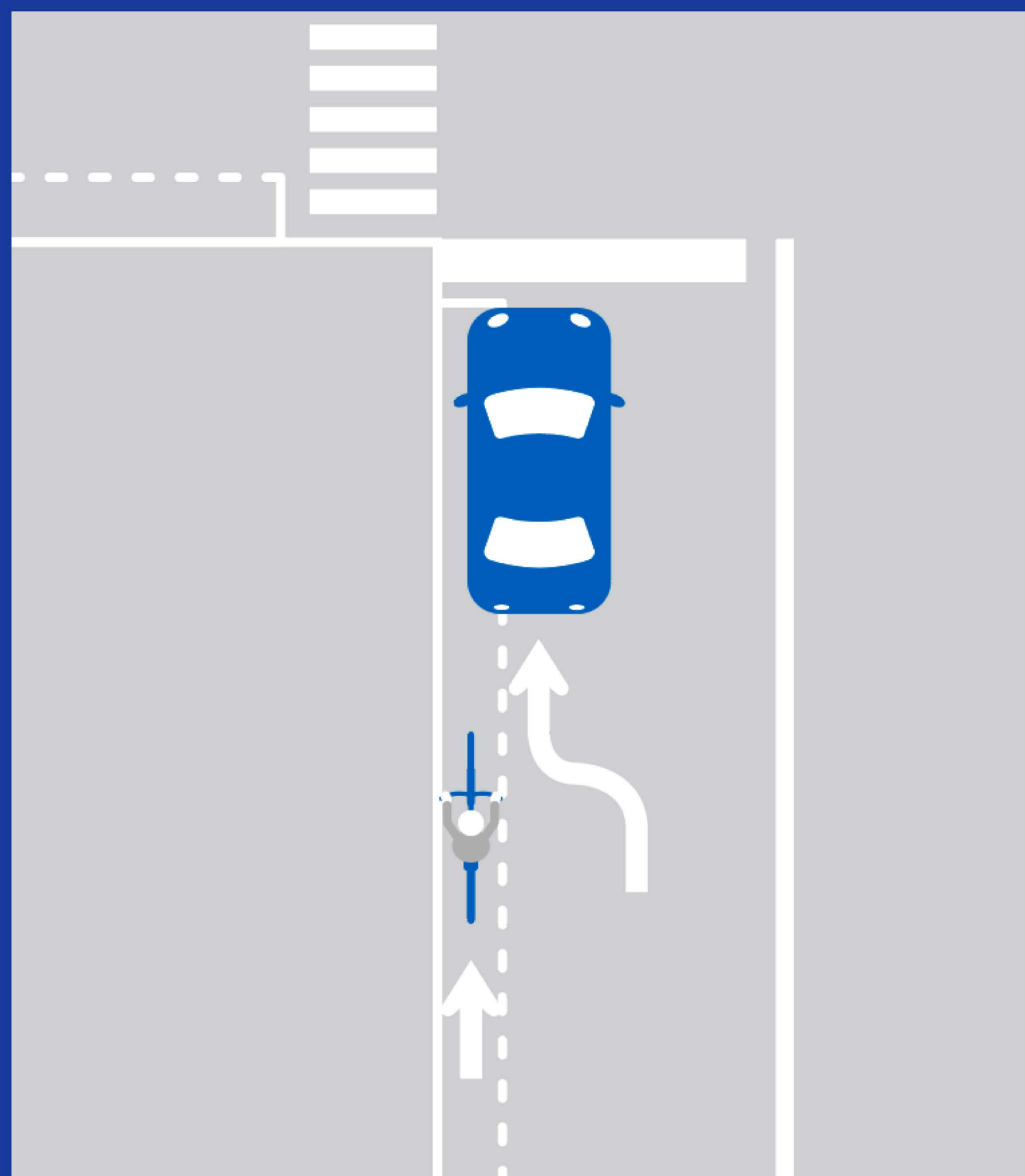
かなりギリギリの距離での追い越しや、スピードを緩めない運転をやめてほしい。

お店が立ち並ぶ国道などで車道に出る車が歩道を塞がないでほしい。

自転車が軽車両であって車道を走行するものだと理解せず、邪魔者扱いしないでほしい。

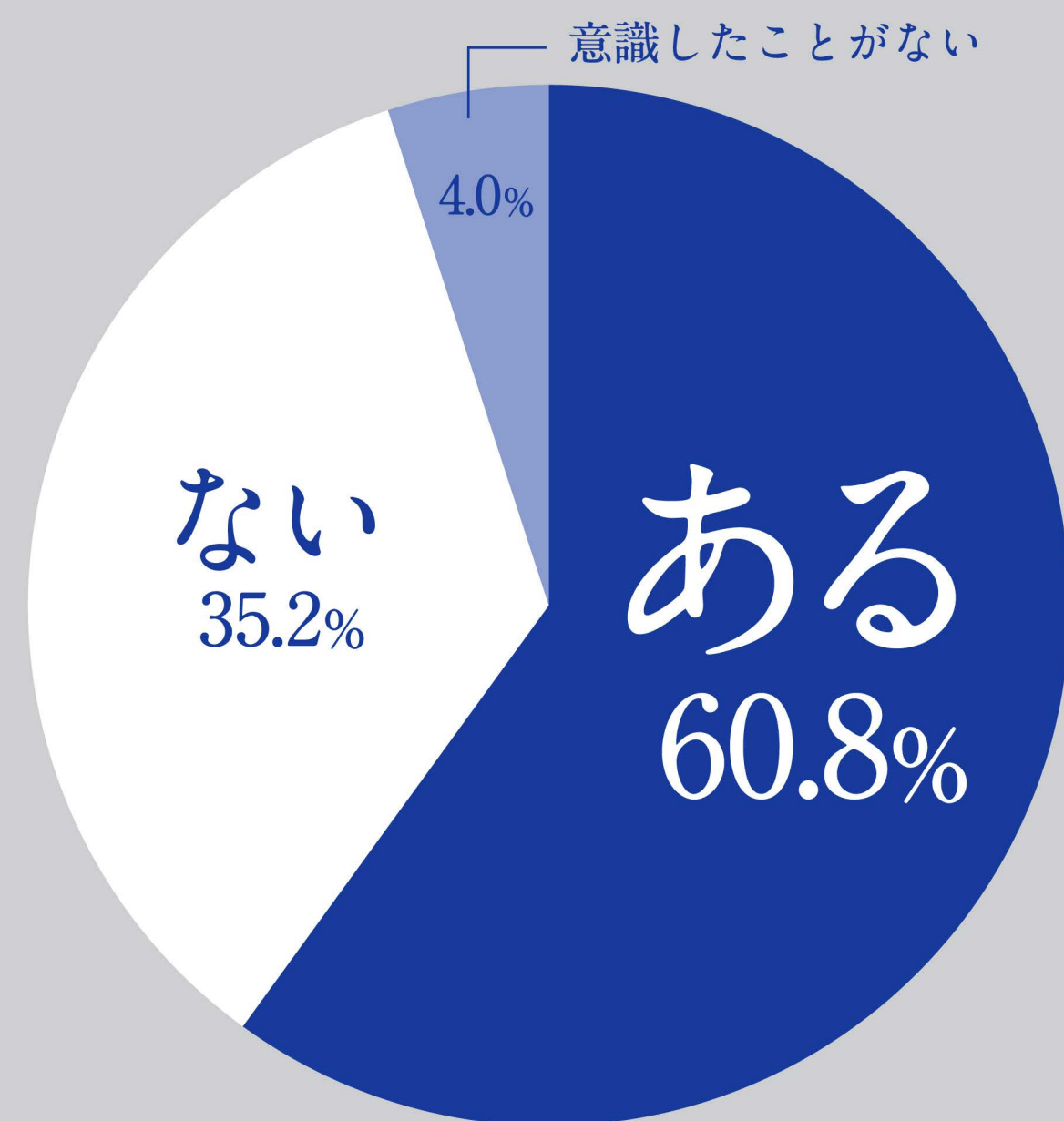


車の ビタ寄せ運転



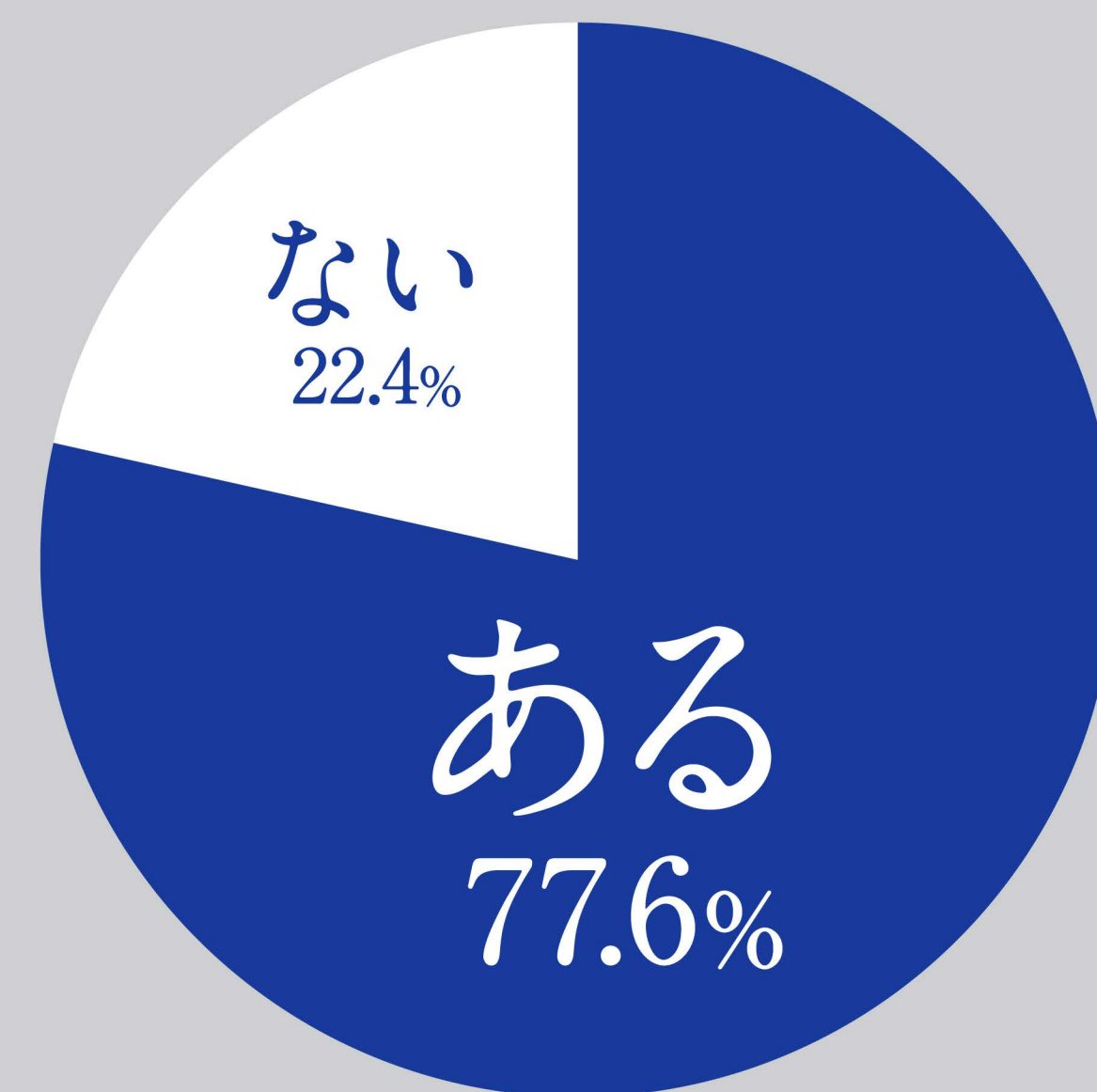
車/CAR

このような運転をする。
またはせざるを得ない
ことがある。



自転車/BICYCLE

このような車を
危険・迷惑だと感じた
ことがある。



このような運転
をする意図は？

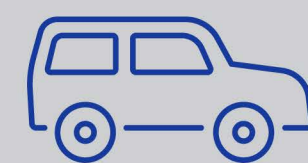
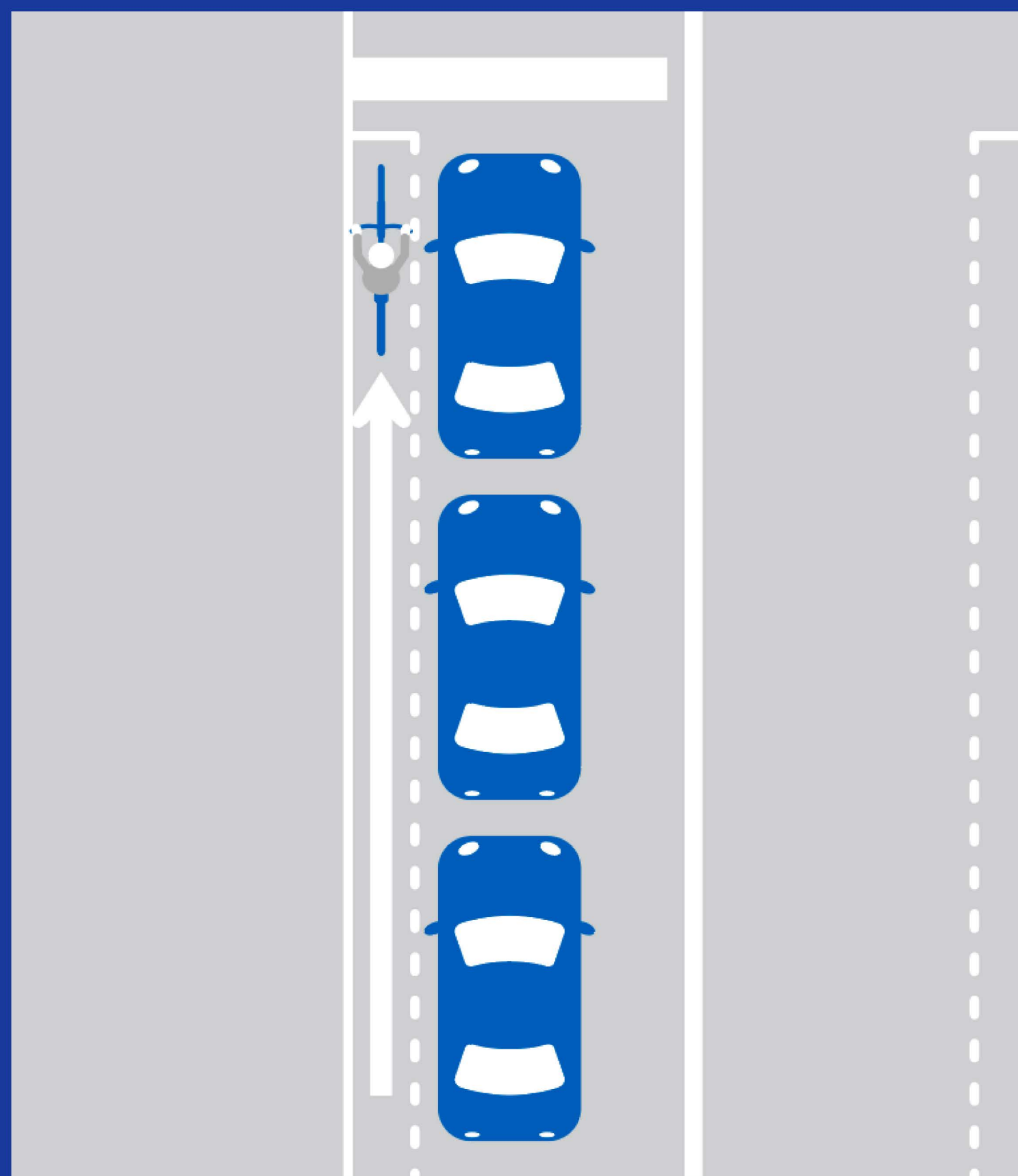
左折時に自転車を
巻き込まないようにするため

67.2%

他にも… 外側に膨らまずに左折できるようにするため
(対向車や右折車との衝突を避けるため)

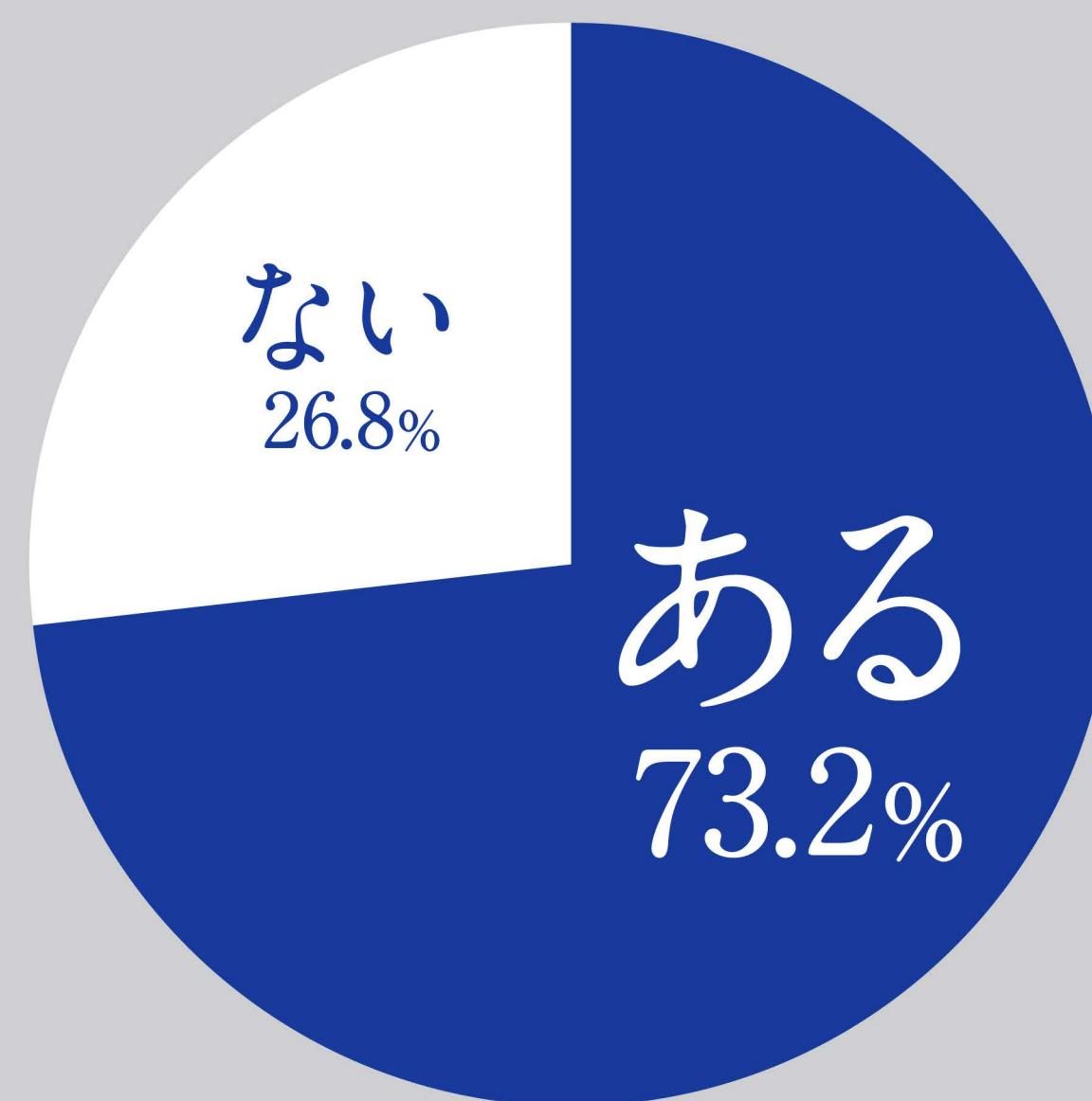
20.4%

自転車の スキマすり抜け



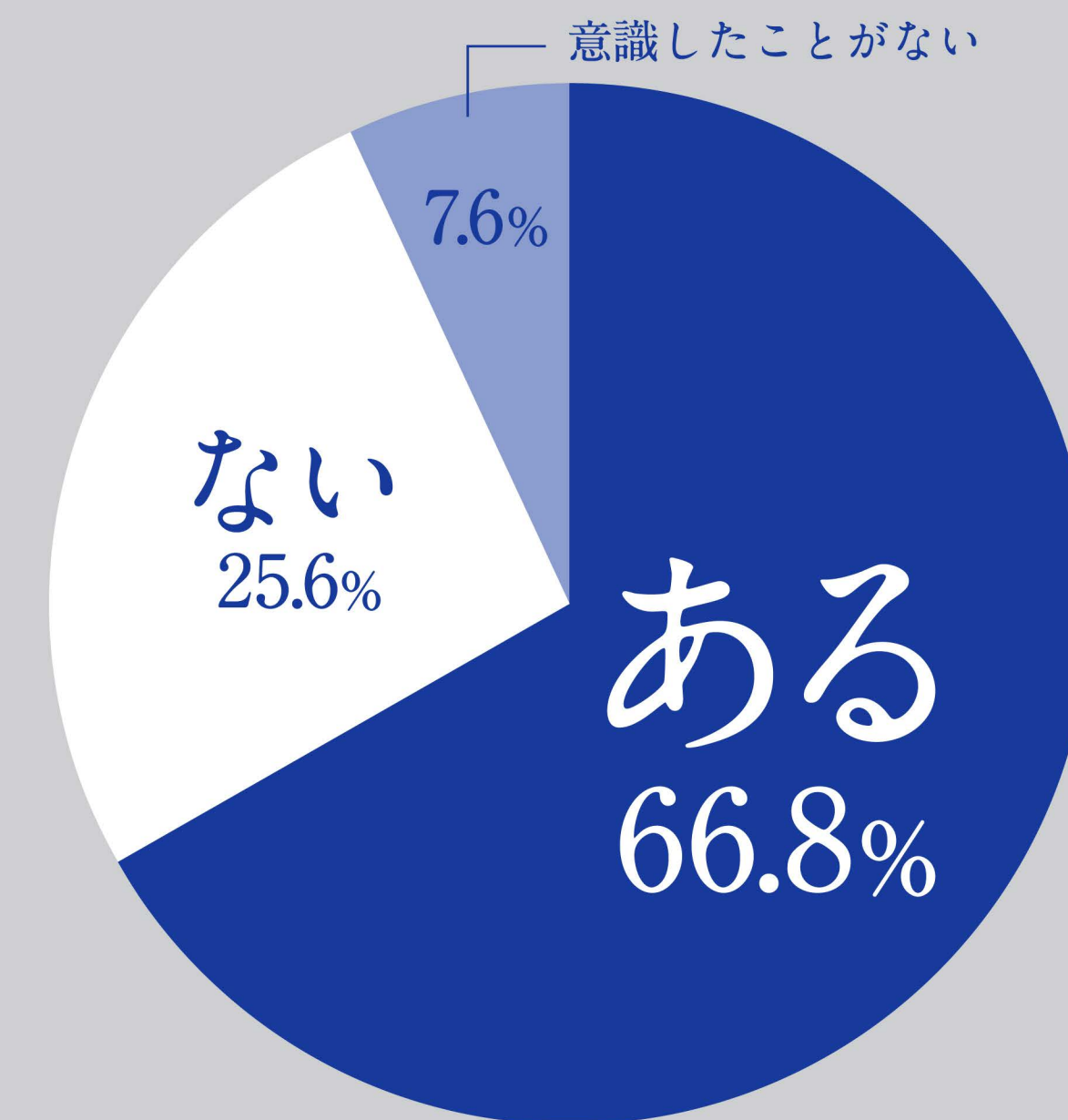
車/CAR

このような自転車を
危険・迷惑だと感じた
ことがある。



自転車/BICYCLE

このような運転をする。
またはせざるを得ない
ことがある。



このような運転
をする意図は？

車の死角に入り、左折時に
巻き込まれることを避けるため

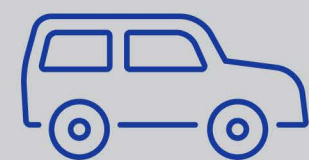
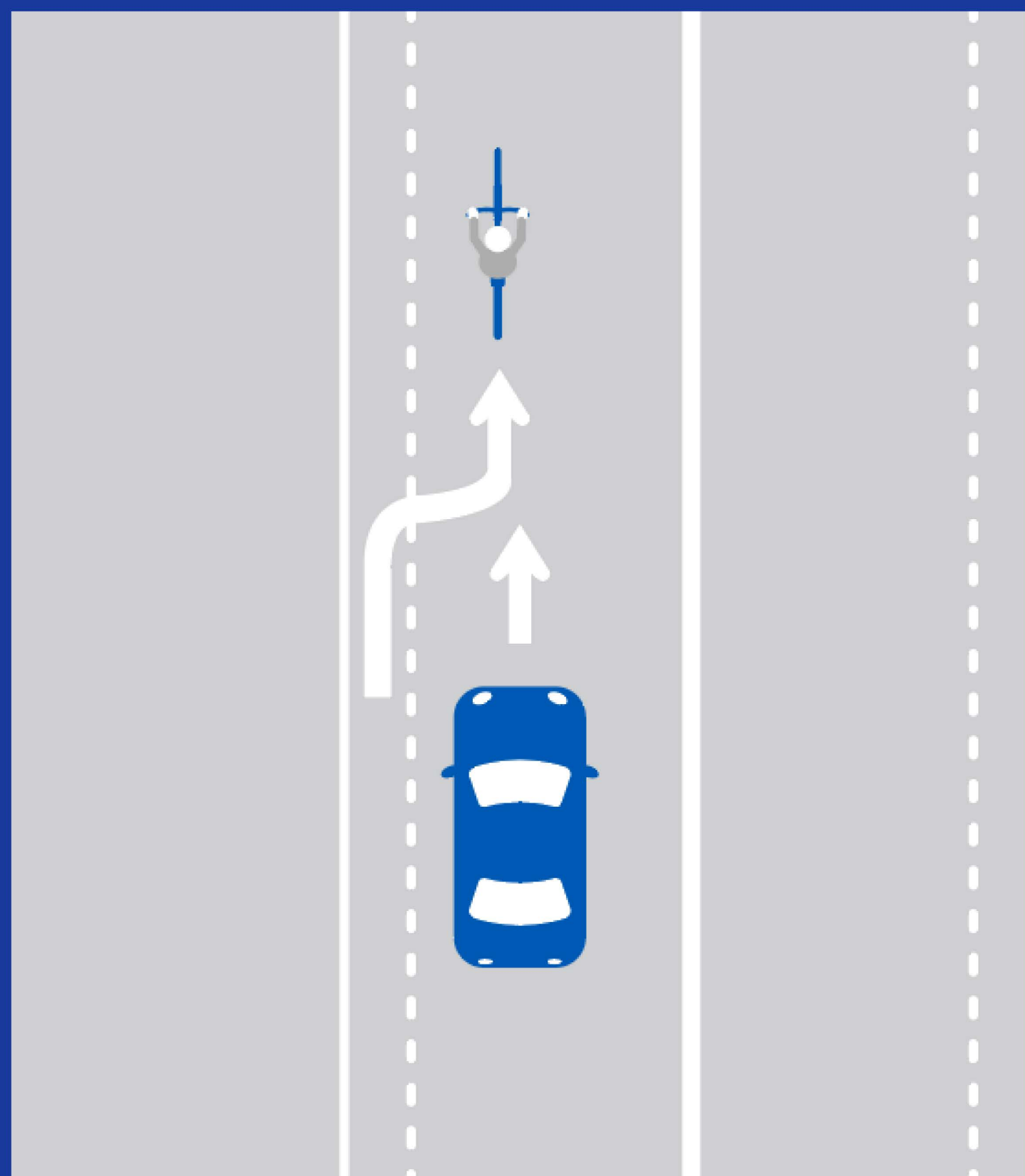
40.0%

他にも…

交通状況的にすり抜けや前進が必要だったため 27.2%

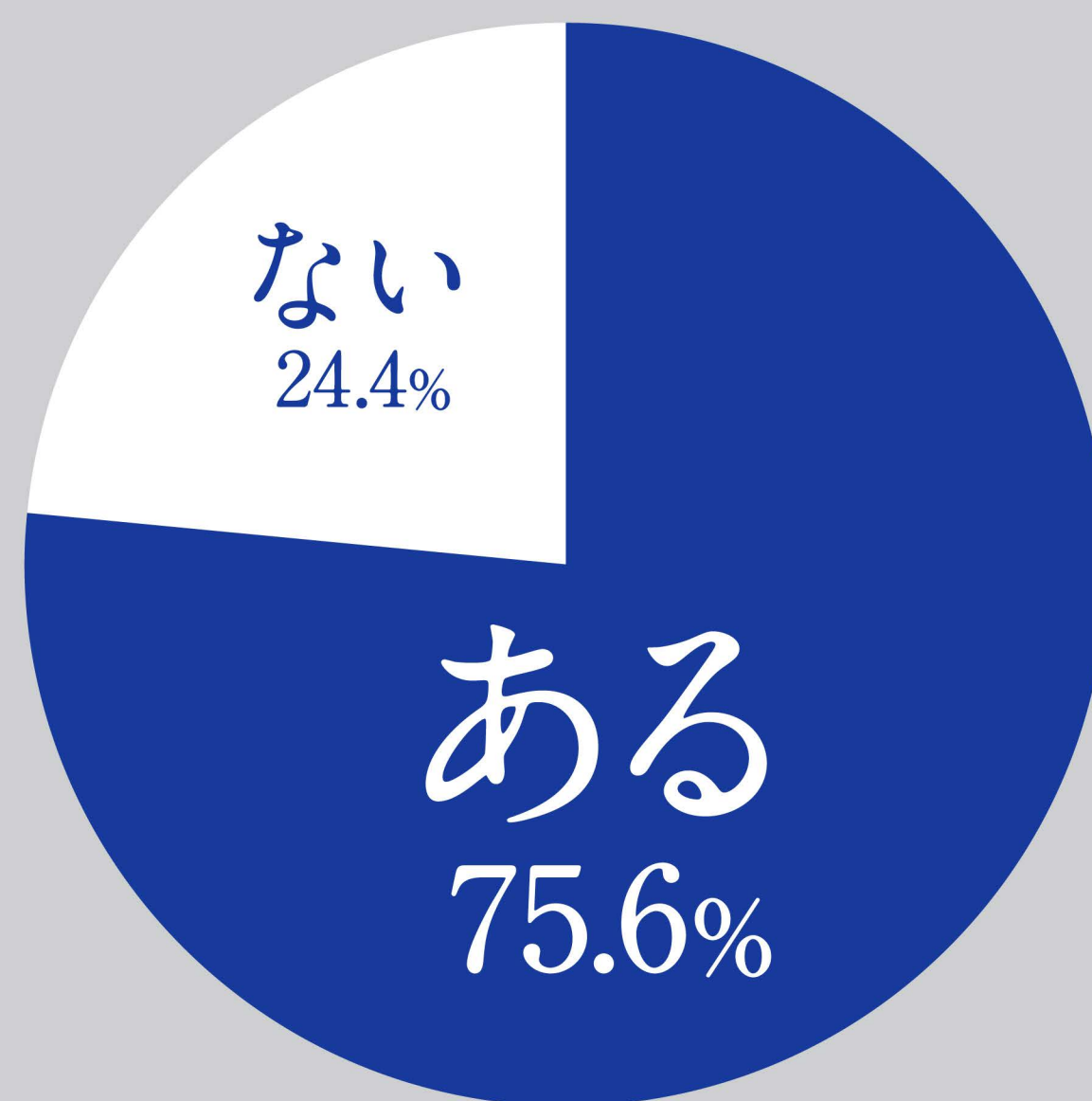
車の後ろにいと左折車に進路を妨害され、信号を通過できないため 22.0%

自転車の 膨らみ運転



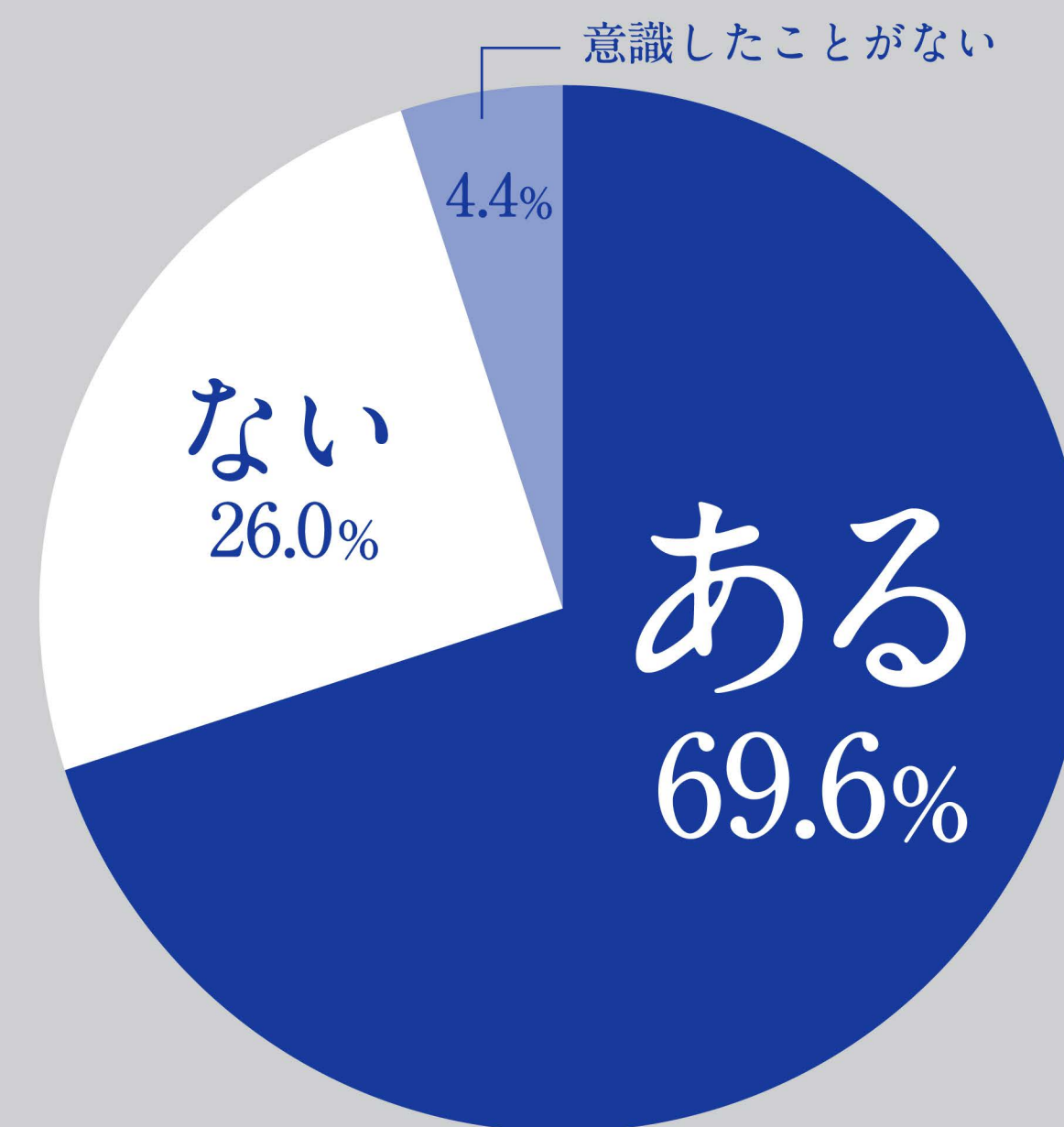
車/CAR

このような自転車を危険・迷惑だと感じたことがある。



自転車/BICYCLE

このような運転をする。またはせざるを得ないことがある。



このような運転をする意図は？

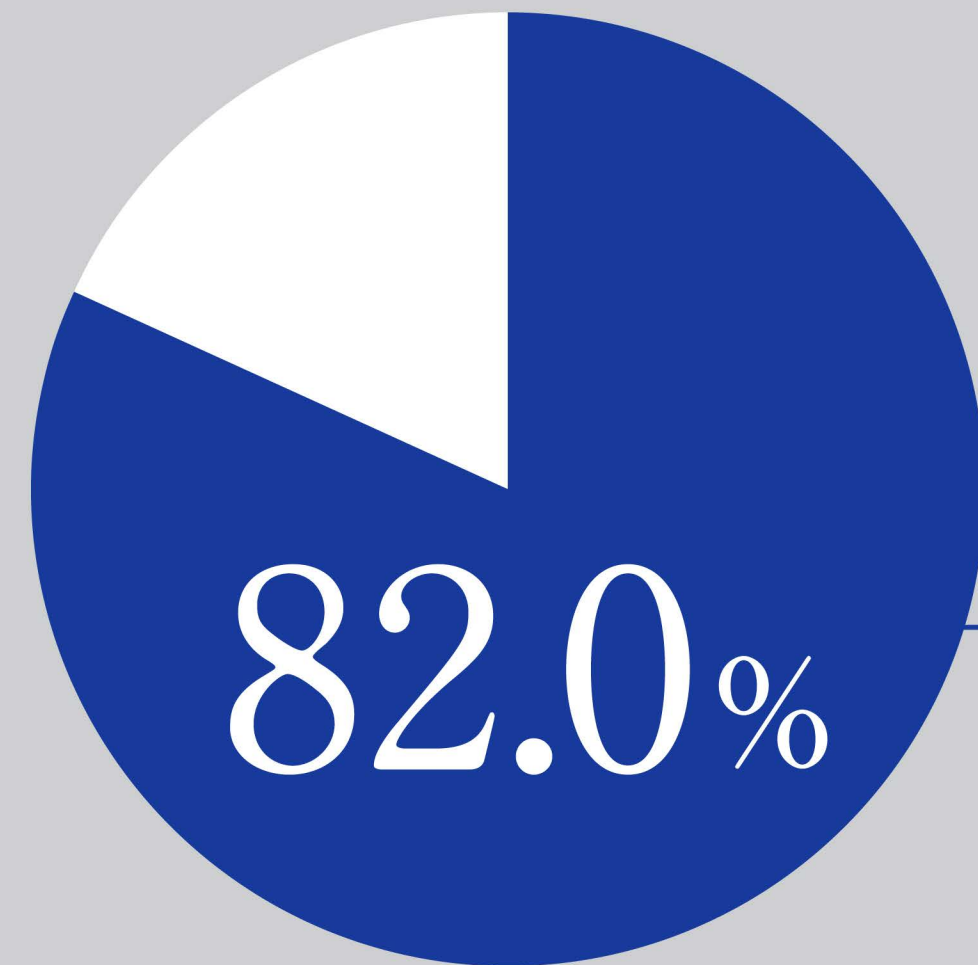
歩道を走行できない、または歩行者との接触を避けるため

54.0%

他にも… 路肩の障害物を避けるため（路上駐車している車、引越しや宅配業者の荷物等） 42.4%
道が狭く、車道中央寄りを走ることしかできないため 34.8%

CAR

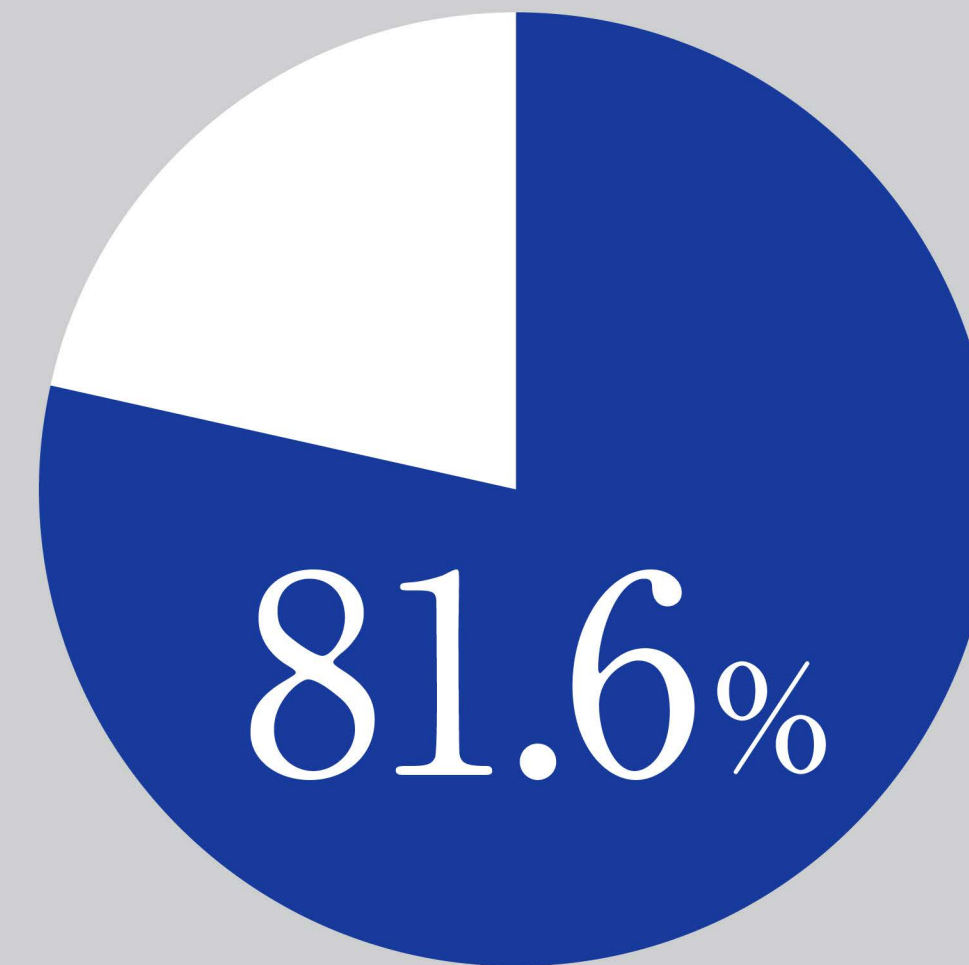
自転車に「車側の事情」をもっと理解して運転してほしい。



82.0%

BICYCLE

車に「自転車の事情」をもっと理解して運転してほしい。



81.6%

自転車、車の間には、相手に伝わっていない事情が存在することが明らかに。事故のない未来をつくるためには、互いの立場や状況を想像することが大切。

